

世界を知る3冊

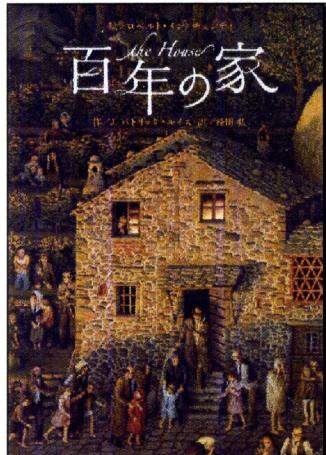
～日本以外の国にも目を向けてみよう～

世界は
いつしょに
まわってる
ヨコ軸でつなぐ日本史と世界史

かえんどうき

日本で火炎土器が作られていた頃、エジプトでは大ピラミッドが建設されていた。日本史と世界史の関係が一目で分かる、歴史の本です。インパクトのある絵がより一層歴史を親しみやすくしてくれていますよ。

稻田雅子／文
ク（サカガミクミコ）／絵
池上彰／監修
小学館（2008年）
本体価格1400円+税



百年の家 the House.

J.パトリック・ルイス／作　ロベルト・インノチエンティ／絵
長田弘／訳　講談社（2010年）　本体価格1900円+税

—その家が見つけられたのは1900年春—

この本には発見されたその家に人々が再び移り、暮らした100年間が描かれています。時には喜びにあふれ、時には恐怖に疊った人々の顔。時代ごとに変わらざる人間模様を静かに見守り続ける家。

歴史の激動を知る一方、
人間の生きる力強さを感じる一冊です。

あのころは
フリードリヒがいた 新版
Damals war es Friedrich.

ハンス・ペーター・リヒター／作　上田真而子／訳
岩波少年文庫（2000年）　本体価格680円+税

ヒトラー政権下のドイツ。ナチス・ドイツによるユダヤ人迫害は人々の心を変えていく。
次第に差別心が植えつけられていく恐ろしさ。
ドイツ人少年の目から、その時代に生き、命を落としたユダヤ人少年フリードリヒのことを描きます。
忘れてはいけない歴史です。

あのころは
フリードリヒがいた

ハンス・ペーター・リヒター作
上田真而子訳

